

鏡仙会

復曲能

重衡

狂言

鬼瓦

能

三輪

白式神神楽

日本全国能楽キャラバン!

鏡仙会特別公演

2022年9月19日月・祝

午後1時開演 国立能楽堂



文化庁大規模かつ質の高い
文化芸術活動を核とした
アートキャラバン事業

日本全国能楽キャラバン!

鍔仙会特別公演

2022年9月19日 一月・祝
午後1時開演(12時15分開場)

復曲能 重衡

前シテ 老人 観世鍔之丞
後シテ 平重衡
ワキ 旅僧 森 常好
アイ 奈良坂辺ノ男 山本凜太郎

笛 藤田 貴寛
小鼓 曾和 正博
大鼓 大倉慶乃助

地謡
青木 健一 観世 淳夫
安藤 貴康 馬野 正基
長山 桂三 柴田 稔
北浪 貴裕 小早川 修

後見 大槻 文藏
浅見 慈一

休憩20分



狂言 鬼瓦

シテ 大名 山本東次郎
アド 太郎冠者 山本 則秀
後見 若松 隆

能 三輪

前シテ 里女 鶉澤 久
後シテ 三輪明神
ワキ 玄寶僧都 宝生 欣哉
アイ 里人 山本泰太郎

笛 竹市 学
小鼓 鶉澤洋太郎
大鼓 國川 純
太鼓 林 雄一郎

地謡
小早川泰輝 観世 淳夫
安藤 貴康 西村 高夫
長山 桂三 浅井 文義
北浪 貴裕 馬野 正基

後見 観世鍔之丞
清水 寛二
鶉澤 光

午後5時10分頃終演予定



重衡

のどけき春の南都、奈良坂を訪れた諸国一見の旅僧。そこへ不思議な老人が現れ、東大寺大仏殿や西大寺、法華寺、興福寺と見事な仏閣の数々を教えると、この地で果てた平重衡の回向を僧に頼み、消え失せてしまう。

やがて僧の弔いに甲冑姿の重衡の霊が現れると、一ノ谷の合戦にて捕縛され、木津川で処刑された自らの最期の有様を語って聞かせ、修羅道の苦患を見せる…。

風雅な公達、勇猛な武将を描いた他の修羅能とは異なり、南都の寺々を焼き払った重衡の罪障懺悔と深い苦悩を描く。

昭和58年に橋の会が浅見真州のシテで復曲上演して以来、再演を重ねる復曲能。

鬼瓦

訴訟のため長らく在京していた大名。この度めでたく訴訟が片付き、これも葉師如来の御利益と思ひ、太郎冠者を供に因幡堂へとお礼参りに出る。さて自分も故郷に堂を建てようと思ひ立ち、大名は因幡堂のあちらこちらを見て回るが、ふと目に留まった鬼瓦を見るうちに泣きだして…。

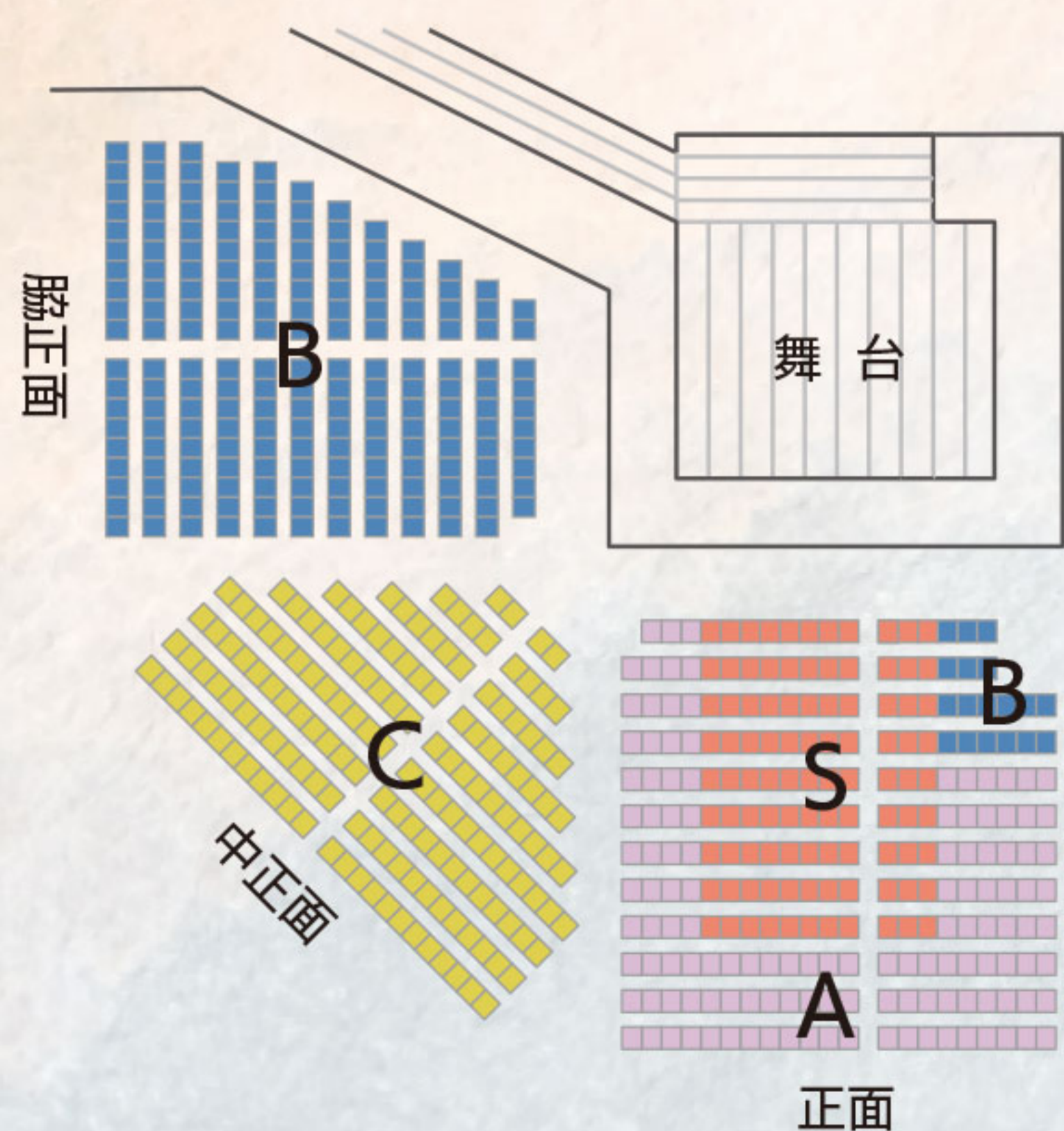
夫婦愛をほのぼのとした笑いのうちに描いた狂言。

三輪 白式神神楽

大和国三輪山の麓に住む玄寶僧都のもとに供物を届ける女はあまりの夜寒に衣を賜り、三輪の御神木が住処だと教えて消え失せる。

果たして三輪山の御神木の杉には女に与えた衣が掛けられており、やがてその木陰より巫女姿の三輪明神が現れる。明神は神と人とが契つたという三輪の神婚説話を語り、さらに三輪明神と天照大神とは同一神であると語ると、天岩戸隠れの様を再現する…。

神婚説話と天岩戸伝説を結びつけた、神聖さと艶やかさを併せ持った能。「白式神神楽」は神話世界の清浄さや荘厳さが強調される演出で、極めて重い習の小書(特殊演出)。



国立能楽堂 (全席指定)

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1

中央・総武線 千駄ヶ谷駅 徒歩5分
大江戸線 国立競技場駅 A4出口徒歩5分
副都心線 北参道駅 出口1徒歩7分

S席	正面	8,000円
A席	正面	7,000円
B席	正面・脇正面	6,000円
C席	中正面	5,000円
学生席	25歳以下	4,000円

お問い合わせ・お申込み 鍔仙会 てっせんかい

電話 03-3401-2285

平日10時~17時

ホームページ <http://www.tessen.org>

インターネットからもお申し込みいただけます。

主催 公益社団法人 能楽協会、公益社団法人 鍔仙会

- ・携帯電話等、音の出る機器の電源は予めお切りください。
- ・無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
- ・都合により、予告なく演目・出演者等に変更のある場合がございます。
- ・客席内での飲食はご遠慮下さい。

